

ニッコウシダ *Thelypteris nipponica* (Franch. et Sav.) Ching

ヒメシダ科 *Thelypteridaceae*

1. 利用可能部位：葉柄と中肋

2. 組織形態：

葉柄断面は葉の上面がやや潰れた円～楕円形。表皮は平滑である。下表皮は2～4細胞層と薄く、径が小さく細胞壁の厚い柔組織で、内層に向かい順次径が大きくなり、壁が薄くなる。維管束は1本で断面盃型で両端の木部が向軸側の内側に巻き込んだ形。

3. 利用例：知られていない

4. 遺跡出土遺物：知られていない

図の説明

A: ニッコウシダ葉柄基部の横断面。円～楕円形で上面はややへこむ。中央に内皮にかこまれた広く開いた盃状の維管束が1本ある。維管束の上端は内側に折れ込む。仮道管は細いものからやや太いものまで変化がある。B:横断面の一部の拡大。表皮は1細胞層、下表皮は2～4細胞層で薄い。明確な通気孔条は認められない。

